

2025年3月24日
西日本鉄道株式会社

鉄道駅バリアフリー料金制度の整備等計画の変更について

鉄道駅バリアフリー料金制度を活用した駅設備のバリアフリー化の促進につきまして、下記のとおり、整備等計画の変更を九州運輸局に届出いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 変更日
2025年3月24日
2. 変更後の整備等計画
別紙のとおり

以上

バリアフリー整備・徴収計画

鉄軌道事業者名	西日本鉄道株式会社
---------	-----------

整備方針	
2021～2025年度	<p>移動等円滑化の促進に関する基本方針に基づく対象駅のバリアフリー化を着実に推進する。</p> <p>(1)西鉄福岡(天神)駅のホームドア整備を完了させる。</p> <p>(2)バリアフリースイレ、案内設備の整備、基準適合化を推進する。</p>

料金額				
券種	定期外		定期券	
	普通券 (磁気券)	普通券 (IC)	通勤定期券	通学定期券
設定額 (円)	10	10	(※1)	0
年間徴収額 (百万円)	400 (※2)		194	0
料金徴収 対象駅	全駅			
備考	<p>※1 1ヶ月：370円、3ヶ月：1,050円または1,060円、6ヶ月：1,990円または2,000円</p> <p>※2 上記券種のほか、回数乗車券、団体乗車券、貸切乗車券、企画乗車券を含む</p> <p>鉄道駅バリアフリー料金を加算した運賃に関する詳細は、別途周知する。</p>			

年間徴収額	594	百万円
徴収期間	3	年間 (2023.3～2026.3) ※2026年度以降も継続予定
総徴収額	1,782	百万円
総整備費	4,115	百万円 (2025年度までの計画) ※2026年度以降の継続について検討予定

バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2021.4～2026.3）

整備内容		
(1) 設置・改良費（附帯費用含む）		
設備名	整備数	整備費
ホームドア	1 駅 6 番線	1,325 百万円
エレベーター	1 駅 3 基	61 百万円
エスカレーター	1 駅 6 基	205 百万円
内方線付点状ブロック	1 駅 6 番線	173 百万円
段差隙間縮小に資する設備	2 駅 10 番線	469 百万円
バリアフリースイール	8 駅 8 ヶ所	55 百万円
車両のフリースペース	11 編成 22 両（※1）	3 百万円
その他	34 駅（※2）	766 百万円
備考	※1：既存車両のフリースペースの拡幅による基準適合化 ※2：列車の接近を警告する装置、非常通報装置、案内設備(LCD)、触知案内板、券売機(基準適合化)、視覚障がい者用誘導ブロック、渡り板設置など	
(2) 更新費（附帯費用含む）		
① 設備更新		
設備名	整備数	整備費
エレベーター	2 駅 3 基	85 百万円
エスカレーター	3 駅 6 基	145 百万円
その他	各 駅（※3）	297 百万円
備考	※3：エスカレーター音声案内装置(基準適合化)、案内設備(LCD)、券売機(基準適合化)、内方線付点状ブロック、視覚障がい者用誘導ブロックなど	
② 車両更新		
路線名	整備数	整備費
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）		
維持管理費（附帯費用含む）	503	百万円
収受システム改修費	4	百万円
その他費用 （駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）	24	百万円
備考	駅務機器改修費：15百万円、駅頭表示改修費：9百万円 維持管理費：ホームドア、エレベーター、エスカレーター、案内設備(LCD)、視覚障がい者用誘導ブロック、列車の接近を警告する装置、非常通報装置などの保守点検・取替・補修に係る費用 2026年度以降の本制度活用の継続について検討予定のため、本制度終了時に必要な収受システム改修費およびその他費用については、本様式には計上していない。	

※整備数：計画期間内に供用開始する設備の数

※整備費：計画期間内に整備する設備の費用

計画期間内の整備費（（1）～（3）の合計）	4,115	百万円
-----------------------	-------	-----

計画期間内の料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	6	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	1 駅
	二経路以上確保駅	— 駅